○クドーボウシズ

船岡の君ケ野付近の数十町歩の田地をうるおす貯水地を「田屋のつつみ」といつている。このつつみぶくろに楢の林を背景にして、こんこんと湧き出る泉がある。村人達はこの泉を「クドーボウシズ」といつている。

この君ケ野の開墾は寛文（一六六一）以前といわれているが、そのころ、この地に真言秘密の法を修し、諸々の不思議をみせて人々を驚かした山伏がいた。山伏の名は不動坊といつていた。不動坊はこの清水を飲み水としていたため、清水に不動坊清水という名がついていたが、それがだんだん訛つて、クドーボウシズとなつたという。（船岡）